

非違行為根絶校内研修資料 4（問題事例集）

一人一人が、

信頼される教職員であるために！！

～事例から学びましょう～



平成25年2月

上越教育事務所

目 次

○ 非違行為根絶校内研修資料4の活用に当たって ～非違行為の要因や対応を考えて、非違行為根絶に努める～	----- 1
○ 問題事例から考えましょう（ガイダンス）	----- 2
● 課題① 注意義務（監督義務）違反 について考えましょう	----- 3 4
・【事例1】 そばアレルギー対応 〈アレルギー〉	----- 5 6
・【事例2】 始業前の教室で 〈始業前〉	----- 7 8
・【事例3】 むかで競争の練習で 〈体育祭練習〉	----- 9 10
・【事例4】 授業変更 サッカーが・・・ 〈授業の変更〉	----- 11 12
・【事例5】 川に転落 〈校外学習〉	----- 13 14
・【事例6】 帰りの会でのこと 〈児童同士〉	----- 15 16
・【事例7】 自習時間中に 〈教室内、吹き矢で重傷〉	----- 17 18
・【事例8】 特別支援学級児童が・・・ 〈対 特別支援学級児童〉	----- 19 20
・【事例9】 夏の日の練習 〈部活動 野球〉	----- 21 22
・【事例10】 柔道部顧問として 〈部活動 柔道〉	----- 23 24
● 課題② 体罰 について考えましょう	----- 25 26
・【事例11】 給食の準備 〈教室にて〉	----- 27 28
・【事例12】 催眠術遊び 〈生徒指導 校内〉	----- 29 30
・【事例13】 恐喝した生徒を・・・ 〈生徒指導 校外〉	----- 31 32
・【事例14】 放課後のできごとから 〈自殺との関係〉	----- 33 34
● 課題③ セクシュアル・ハラスメント について考えましょう	----- 35 36
・【事例15】 同僚の男性教員から・・・ 〈同じ教科担任で〉	----- 37 38
・【事例16】 女子生徒に 〈対生徒〉	----- 39 40
● 課題④ その他の信用失墜行為 について考えましょう	----- 41 42
・【事例17】 練習試合の引率 [交通事故] 〈生徒引率時〉	----- 43 44
・【事例18】 遊んでいて [施設管理] 〈遊具〉	----- 45 46
・【事例19】 生徒の自殺 [いじめ対応] 〈学校認識あり〉	----- 47 48
・【事例20】 保護者から問い合わせが・・・ [横領] 〈学校事務職員〉	----- 49 50
※ 参考	
○ 非違行為の分類 一個々の非違行為への対策は万全ですか？	----- 51
○ 非違行為根絶に向けた学校の組織的な対策	----- 52
○ 非違行為等に対して問われる責任 懲戒処分概要	----- 53
○ 参考文献等	----- 54



非違行為根絶校内研修資料4の活用にあたって
 ～非違行為の要因や対応を考えて、非違行為根絶に努める～

非違行為が発生してから聞かれる共通の言葉があります。

「自分は、非違行為（事故）と関係ないと思っていた。」

「自分の学校では起きないと思っていた。」

こうした根拠のない油断が、非違行為(事故)に対する備えを甘くし、事故を引き起こす誘因となっています。日常的に非違行為に対する当事者意識と危機感を強くもつ必要があります。

こうした点から非違行為根絶校内研修資料4は、非違行為の原因や問題性、影響等を踏まえ、防止策や対応を明らかにするための【問題事例集】としました。ここに載せた【事例】は、主に実際の裁判で出された「判決」を基に作成しています。また、多くの非違行為がある中で、日常「起こるかもしれない」「意外と落とし穴かもしれない」という視点から、4課題（①注意義務（監督義務）違反 ②体罰 ③セクシュアル・ハラスメント ④その他の信用失墜行為）を設定しています。

この問題事例を基に、更に身近ではどのような問題が想定され、個人と組織の両面からどう対策を講じたらよいかを考えてください。また、他の人と意見交換しながら、自分の考えを広げたり深めたりしてください。その際、校内研修資料1～3も活用することで認識をより一層深め、対策を強化してください。

非違行為根絶校内研修資料4（問題事例集）

「一人一人が、信頼される教職員であるために！」

～ 事例から学びましょう～

* 4つの課題

- 課題① 注意義務違反 課題② 体罰 課題③ セクハラ 課題④ その他の信用失墜行為

【問題事例から考えましょう】

[原因や背景は？]

- ・非違行為や事故の発生を許した原因や背景を具体的場面を想像しながら考える。

[事前防止策は？]

- ・非違行為や事故が発生しないための取組について、個人と組織の両面から考える。

[事後対応策は？]

- ・非違行為や事故が残念ながら発生した場合、取るべき対応策を具体的場面を想像しながら個人と組織の両面から考える。

[その後の影響は？]

- ・非違行為や事故の発生から想定される影響や、身近な危険を考える。

参 考

〈非違行為の分類と対策〉

- ・非違行為を分類・整理して理解する。
- ・自分が気をつけるべきことを考える。
- ・組織的な対策で大切なことを押さえる。

〈非違行為に科せられる責任〉

- ・非違行為による処分や失うものを認識する。
 （懲戒処分の種類、経済的損失、失望、周囲への影響等を認識する。）

関係する法令や注意すべきポイントは何だろう？

実際にどんな処分が科され、どんな対策があるのだろう？

具体的な事故防止策やメンタルヘルスについて考えよう！

非違行為根絶研修資料

【非違行為の問題性を理解する】

- ・事例と解説から理解する。
- ・関係法令から法令遵守の重要性を理解する。
- ・チェックポイントで、自分や組織の問題点を改善する。

非違行為根絶研修資料2

【処分事例や各校の取組から、個人と組織の防止策を高める】

- ・発生した事案等から、事故の傾向性や処分の実際を理解する。
- ・非違行為を防止するために、個人と組織の両面から、効果的な対策を検討する。

非違行為根絶研修資料3

【事故防止策を改善し、メンタルヘルスの意識を高める】

- ・多発する車の事故防止策を見直し改善する。
- ・効果的な実践を紹介し、自校の取組に生かす。
- ・メンタルヘルスの重要性を理解し、心身の健康保持に努める。

問題事例から考えましょう (ガイダンス)

- ◆ 非違行為の内容により、4つの課題を設定しています。

課題① 注意義務（監督義務）違反 について考えましょう

課題② 体罰 について考えましょう

課題③ セクシュアル・ハラスメント について考えましょう

課題④ その他の信用失墜行為（引率時の事故、施設管理瑕疵、いじめの対応、横領）
について考えましょう



- ◆ 各課題ごとに、ガイド〈事例〉（例題）があり、その後【事例】が並んでいます。

- ・【事例】から、〈問い〉について考えましょう。
- ・【事例】は、実際の判例等を基にして、若干のアレンジを加えているものです。基になった判例は、全て、被告側（教職員、学校、市、県）に少なからず非があると判決されたものです。
 - *一人で考えるのもよいですが、グループで話し合っって考えを深めていくこともよいでしょう。
 - *この【事例】や〈問い〉から、更に身近な事例や、発展した問いを考え、研修していくこともよいでしょう。
 - *研修の選択肢を広げるために、様々な場面から多くの【事例】を載せています。
 - ・学校課題等から問題事例を選択して活用してください。
 - ・一つの【事例】について時間をかけ、じっくり考えを深めてください。

○各【事例】裏面の《参考判例》は、表面【事例】の基になる判例です。
裁判年月日、裁判所名、裁判番号等を記載しました。

○各【事例】裏面の《事実等》は、参考判例の判決文から引用したり、概要をまとめたりしたものです。表面の〈問い〉に対する答えを導き出す参考資料として活用してください。

- ★ 「複数の皆さんで多様な視点から考えを出し合い、広げ、深めていただきたい」という願いから、〈問い〉に対する解答例は、ほとんど載せていません。
- ★ 研修の際は、必要ページをワークシートとして、増刷りして活用してください。